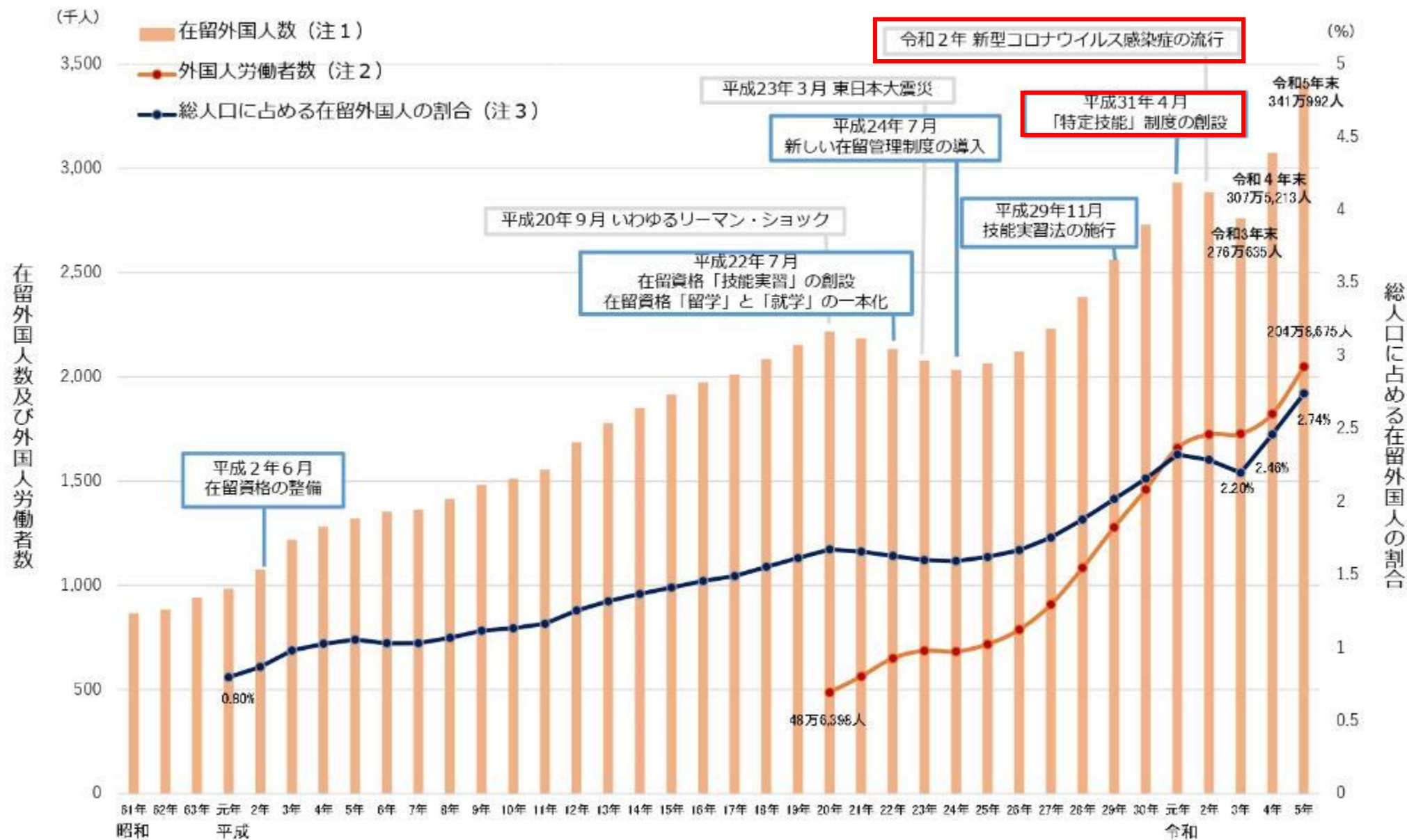


多文化共生と図書館

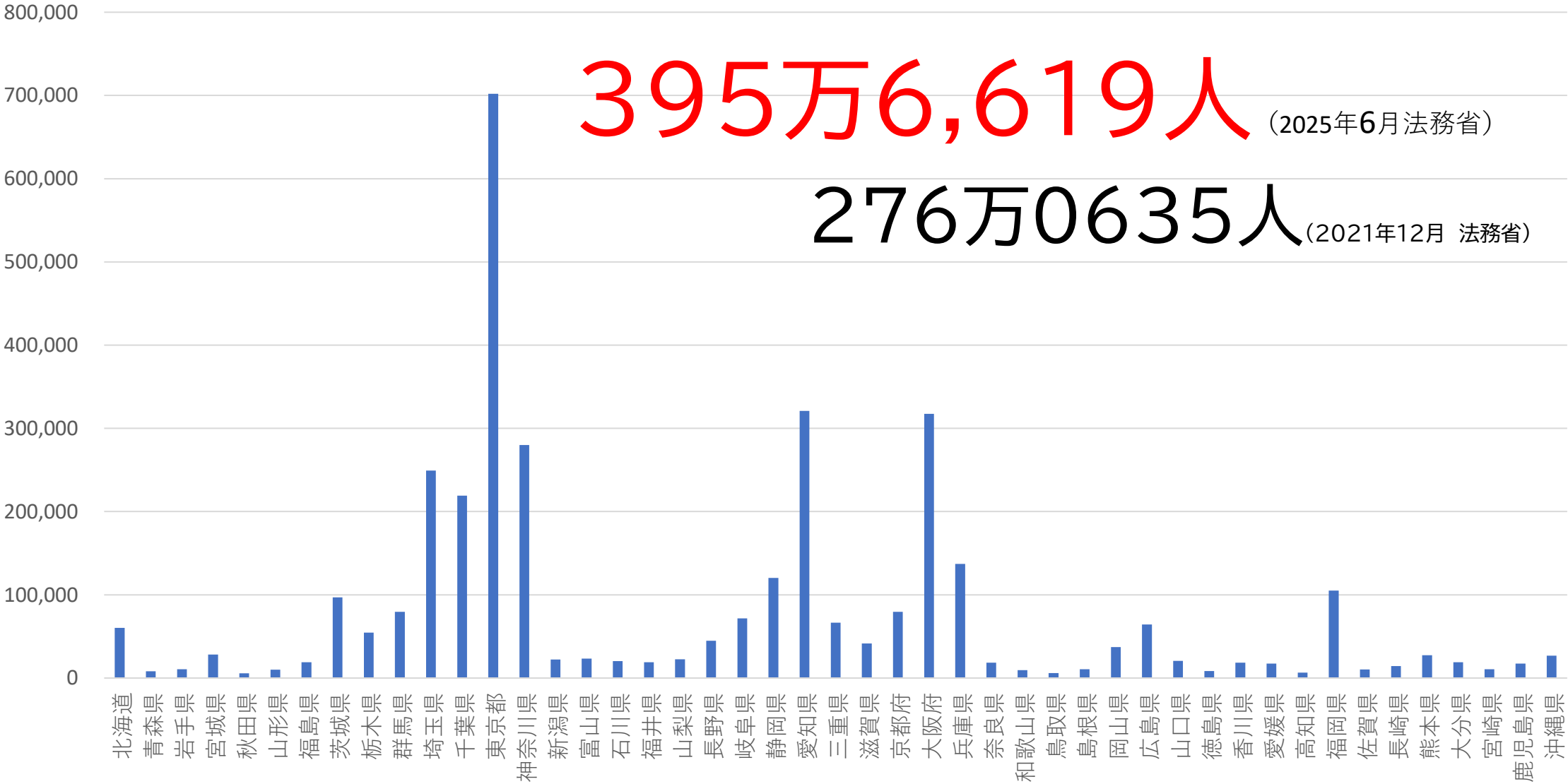
NPO法人 国際活動市民中心(CINGA)
コーディネーター 新居みどり

在留外国人数及び外国人労働者数の推移



(注1)平成23(2011)年までは法務省入国管理局(当時)「(旧)登録外国人統計」(12月末現在)に、平成24(2012)年以降は出入国在留管理庁「在留外国人統計」(12月末現在)に基づく。
 (注2)厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況集(各年10月末現在の統計)に基づく(外国人雇用状況の届出制度は、平成19(2007)年10月1日から開始されているため、平成20(2008)年以降の推移を示している。)
 (注3)総人口は、総務省「人口推計」(各年10月1日現在の統計)に基づく。

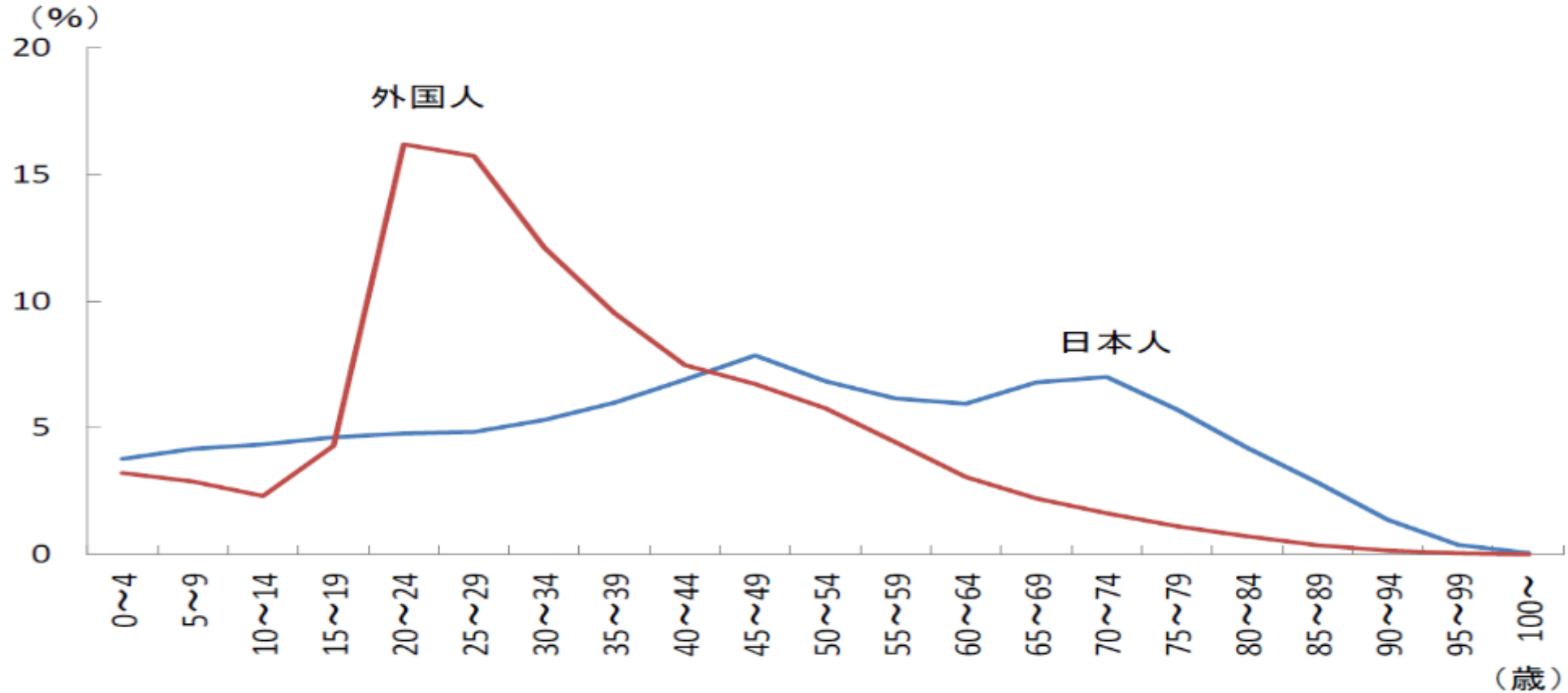
在住外国人の現状



■ 外国人数

在住外国人の現状

図表2 日本人と外国人の年齢階級別割合（2020年1月1日）



(資料) 総務省『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数』（2020年）より、みずほ総合研究所作成

外国人の困ったの背景にある3つの壁

法律の壁

在留資格による制限

ことばの壁

日常会話○・読み書き×

こころの壁

差別・ストレス・

周囲にきける人が少ない

やさしい日本語とは

普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のことです。日本に暮らす多くの外国人と、やさしい日本語であればコミュニケーションが取れます。

話しことば

1. 意識するだけで話せる
2. 相手の日本語レベルをみながら調整ができる
3. 消えて残らない

書きことば

1. 組織内で使用する言葉を統一する必要がある
2. 情報を取捨選択する必要がある
3. 消えずに残る

図書館及び図書館員向けへの働きかけ

■「やさしい日本語」×図書館員の研修

- 外国人住民の背景を知る
- 「やさしい日本語」の実践練習

■バリアフリーの視点から取り組み

- 外国人住民が図書館を訪問し意見交換
- 表示やピクトグラム、デジタルサイネージの活用

三鷹市立図書館の実践





図書館と外国につながる人びと

■ 地域の子ども日本語教室への団体貸し

○ ダブルリミテッドとは

2つの言語に触れる環境にありながら、どちらの言語も年齢相応のレベルに達していない状態

◇学習面: 概念理解や抽象的な思考が困難になり、学業不振につながる可能性があります。

◇精神面: 言語に対する葛藤を抱え、アイデンティティ形成に影響を与えることがあります。

◇日常生活: コミュニケーションや社会生活に支障をきたす可能性があります

○ 読み聞かせの取り組み

◇ボランティアが子どもたちに本の読み聞かせを実施

◇子どもたちが本を手にとることが増えるように。また、絵と耳から入ることばで概念がわかるように。



図書館と 外国につながる人びと

■国際ママの会と協力して多言語絵本の読み聞かせ

○母親へのエンパワーメント

沢山の来場者の前で母語で絵本を読み聞かせを実施

図書館が身近な存在に

